

ArcticSun 5000 簡易取扱説明書

＜Arcticジェルパッド 体重16kg以上＞

Arcticジェルパッド ～サイズ選択～ (16kg以上)

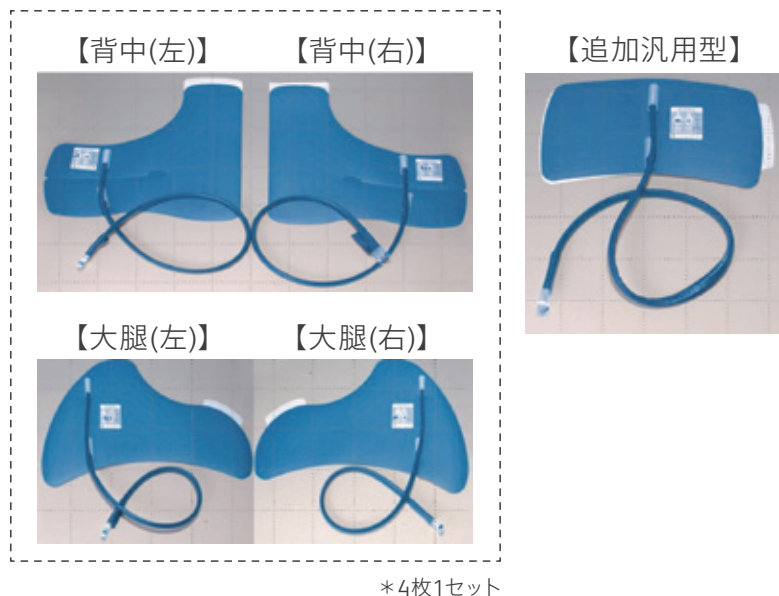
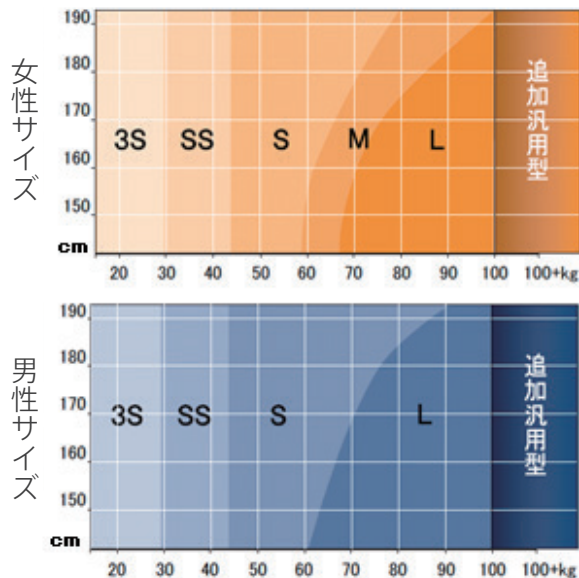
16kg以上の患者さんに使用するパッドは6種類。

[3S] [SS] [S] [M] [L] サイズ (各4枚1セット*) と [追加汎用型] があります。

※100kg超の患者さんには、[L] に追加して [追加汎用型] を腹部に使用してください。

※ [追加汎用型] は、他のパッドが汚染・破損した時の代用にすることができますが、[追加汎用型] 単体では使用しないでください。

※女性サイズ [M] は、上半身用の背中 [S]、下半身用の大腿 [L] の組合せになります。



【禁忌・禁止】

- ※ 潰瘍、火傷、蕁麻疹、発疹のある皮膚の上にはArcticジェルパッドを当てないでください。
- ※ 再使用しないでください。
- ※ 追加汎用型のジェルパッドを単体使用しないでください。

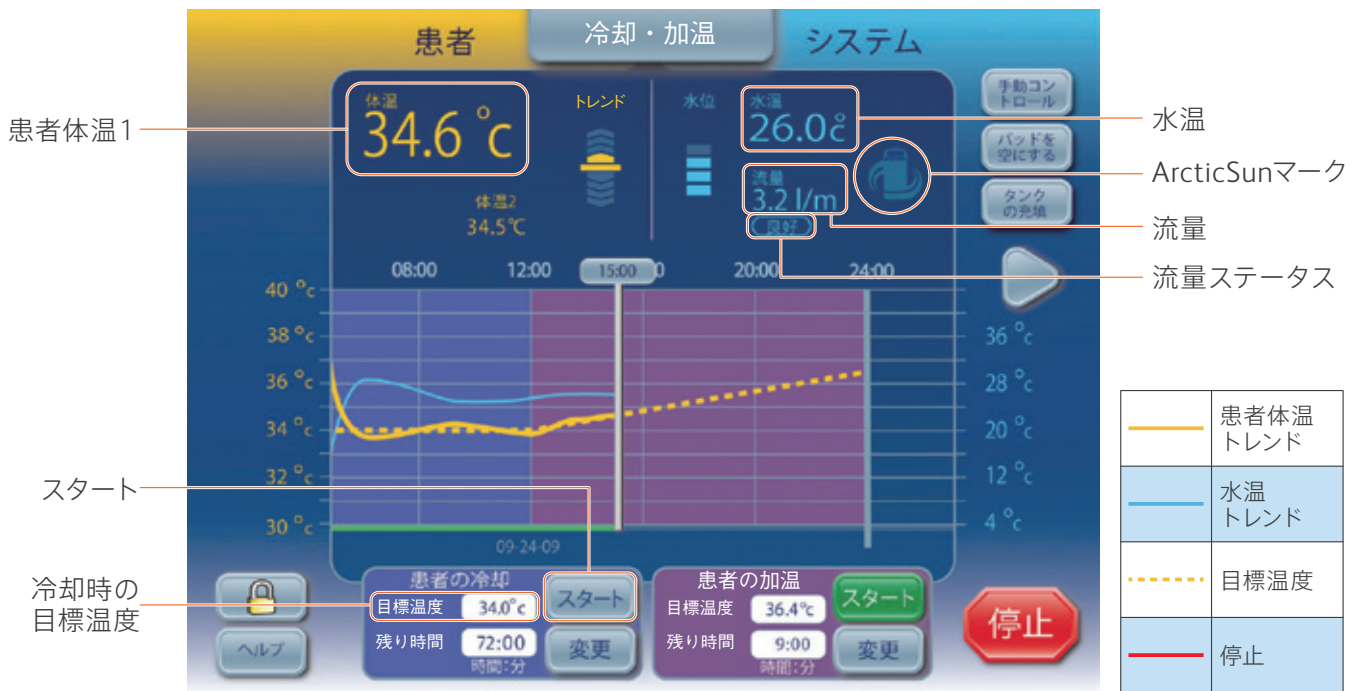
パッドの適正流量

| サイズ | 3S | SS | S | M | L | 追加汎用型 |
|---------------------|---------|---------|----------|--------|--------|----------------|
| 対象患者体重 | 16～30kg | 30～45kg | 上記サイズ表参照 | | | |
| 適正流量*1 (l/min程度) | 1.7l/m | 1.7l/m | 1.7l/m | 1.7l/m | 1.7l/m | —*2 |
| 重量(未使用) (@4枚) | 約0.6kg | 約0.8kg | 約1.3kg | 約1.3kg | 約1.4kg | 約0.2kg (1枚) |
| 重量(循環時) (@4枚) | 約0.8kg | 約1.2kg | 約2.1kg | 約2.2kg | 約2.4kg | 約0.4kg (1枚) |

※1 4枚使用時の適正流量です。適正流量が著しく低下した場合、温度コントロールに影響がでる可能性があります。

※2 [追加汎用型] 単体では使用しないでください。

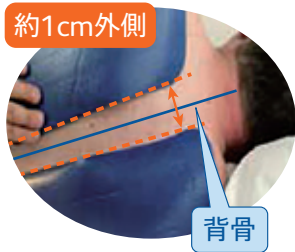
使用中の本体の チェックポイント



- Arctic Sunマークが点滅しているか？ 流量が表示されているか？
 - ➔ スタートボタンを押し忘れた場合、冷却・加温はされません。
- 【116 患者体温1の変化が検出されませんでした】 警報が発生していないか？
 - ➔ [患者体温1] に5分間0.15°C以上の変化がない場合に発生。
必ず【閉じる】ボタンで警報を閉じてください。(1度【閉じる】を押すと、警報No.116は再発生しません)
 - 【117患者体温1の変化が検出されませんでした】:上記の状態が5分以上続いた場合、ArcticSunは停止します。
- [患者体温1] が設定した [目標温度] の±0.5°C以内で経過しているか？
 - ➔ 【温度プローブやケーブルの断線がないか】 【シバリング・痙攣発作等が起きていないか】 【適正サイズのパッドが使用されているか】を確認してください。
- [水温] が変動しているか？
 - ➔ [水温] が変動しているか確認してください。
- [パッドの適正流量] が保持できているか？
 - ➔ [適正流量] が保持できていない場合
【注水ライン・パッドのラインに屈曲がないか】 【パッドと注水ラインが確実に接続できているか】を確認してください。
- 設定した内容が表示されているか？
 - ➔ 設定後に必ず変更ウィンドウの【保存】ボタンを押してください。
【保存】を押し忘れた場合、入力内容は反映されません。
入力内容が反映されていない場合、再度設定を入力し【保存】ボタンを押してください。

装着方法(3S・SS・S・M・Lサイズ・追加汎用型)

上半身用[背中]

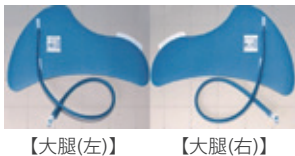


患者さんを側臥位にし、パッドの長い部分を、背骨から約1cm外側に合わせて貼付。
※背骨の上にパッドを貼付した場合、褥瘡が発生する恐れがあります。



パッドの短い部分を背中側から腹部側に回します。反対側も同様の手順です。

下半身用[大腿]



パッドの、ホースがある長い部分を、大腿部外側になるように貼付。
※鼠蹊部より上にパッドがかかった場合、腹部に褥瘡が発生する可能性があります。



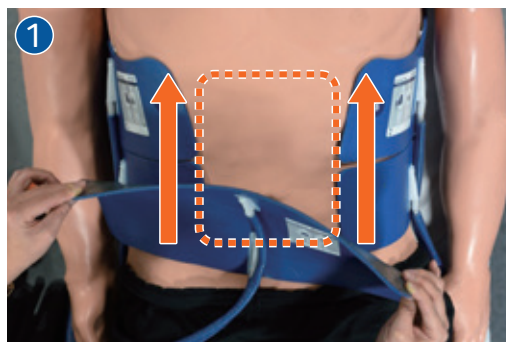
パッドの短い部分を内腿側に回し、余りは重ね合わせます。反対側も同様の手順です。

追加汎用型



100kg超えの患者さん、もしくは貼付したArcticジェルパッドが実際の患者さんの適正パッドより小さい場合に追加汎用型パッドを腹部に追加します。

※ [追加汎用型] 単体では使用しないでください。



上半身用パッドで覆いきれていない腹部に、追加汎用型パッドを貼付。



余ったパッドは上半身パッドに重ね合わせます。

※ 重ねてつけても問題ありません。

スキントラブル防止策

背部



●背骨左右の間隔を1cm開ける

背骨の上にパッドを装着しないでください。圧によりスキントラブルを起こす可能性があります。

背骨の左右の間隔を1cm以上開けないでください。広すぎる場合、皮膚がよれ、スキントラブルを起こす可能性があります。

●薄めの皮膚保護材を使用

厚い皮膚保護材が使用された場合、皮膚保護材の厚みによって、褥瘡が発生する可能性があります。

腋窩・腸骨部



●定期的に圧解除(位置を変更)

陰圧管理のため、パッドの辺縁部に圧がかかります。

●皮膚保護材を使用し、適正なパッドサイズを選択

骨突出部へ圧がかからない様に対応してください。

●定期的に、パッドがきつすぎない等を確認

心停止後は浮腫が増強するため、冷却時間とともにパッドがくいこむことがあります。

パッド装着時の注意点

- ◇乾いた皮膚に使用してください。
- ◇パッドは無理に引っ張らず、ゆっくり剥がしてください。
- ◇定期的に皮膚状態を観察してください。(4~6時間毎、又は院内基準に従う)

スキントラブルを助長させる原因

- ◇糖尿病
- ◇栄養状態が良くない
- ◇末梢血管疾患
- ◇ステロイドや大量の昇圧剤を投与
- ◇浮腫増大を伴う皮膚が脆弱な患者

保護シートの活用

パッドには保護シートが同封されています。

ドレーン留置部位や創傷部位と接触する部分には、同封されている保護シートを**必要な大きさに切り**、使用部位に重ね合わせることで、ドレーン抜去リスク等が軽減されます。



・事前に必ず添付文書を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。
・本製品の添付文書は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の医薬品医療機器情報提供ホームページでも閲覧できます。
・製品の仕様・形状等は、改良等の理由により予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

cbrbard.jp



BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2020 BD. All rights reserved.

2020.4.2.000 UCC_M4040